

ベトナム国貧困地域における小規模インフラ整備事業のための現況調査

国名	ベトナム共和国
発注者	国際協力機構(JICA) 農村開発部
事業分野	農村開発
実施期間	2010年3月から約8.8ヶ月間



©The World Factbook

事業の背景

ベトナムは1986年の「ドイモイ(刷新)政策」導入後、目覚ましい経済成長を遂げ、1993年から2004年の12年間におけるベトナムの貧困率は58%から24%まで低下しました。しかしながら、農村部と都市部の経済格差は拡大しており、このような状況から、日本は緊急性の高い地方道路、給水設備、配電、灌漑、植林整備を対象とした借款事業を実施し、引き続き、より貧困地域に焦点を絞った道路、配電、給水、灌漑の4セクターを対象とした借款事業(セクタープロジェクトローン: Sector Project Loan、以下SPLと略称する)を実施してきました。しかしながら、建設された施設の状況把握が十分ではないと考えられたため、社会基盤整備事業(道路、配電、給水、灌漑)の計画、運営・維持・管理等にかかる課題を確認し、日本側のSPL事業検討に必要な情報を整備することを目的として本調査が実施されました。



SPL サージタンク(給水)

事業の内容

本プロジェクトでは、ベトナムの全省を対象として調査を実施しました。対象セクターは道路、配電、給水、灌漑の4セクターで、質問票調査とこれまでのSPL事業で建設された1,115の施設のサイト調査を行いました。これら調査においては、設備の概要や現況、事業の効果や設備の運営・維持・管理状況等を調査項目として設定し、その内容や実施方法・スケジュールについては、地方省計画投資局及びその他関係機関と協議を行いました。サイト調査のうち、97の給水施設および84の灌漑施設の調査については、すべて調査団員技術者の目視による現況把握が行われました。また、4つのセクターの施設にかかる調査と並行し、計画投資省によるSPL事業施設管理のためのデータベース構築にかかる作業も行われました。



SPL で改修されたダム